

評価対象年度：平成19年度				管理	3-2-4-2
事務事業名 国民健康保険保健医療事業				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	市民課
	国保事	02-060101002	細々目名	係等名	国保年金係
政策体系	基本目標	3	共に支えあうやさしいまちづくり		
	施策	2	国民健康保険事業・老人保健事業（医療も含む）の充実		
	基本事業名	4	国民健康保険保健事業		

事業概要 実施内容	年度内に、満35・45・55・60・64歳に達する被保険者を対象に日帰り人間ドックを行い、生活習慣病予防対策と疾病の早期発見、早期治療を推進し健康の増進を図る。また、保健師等による検診等の事後指導訪問を行い、健康管理と適正受診の指導を行い医療費の適正化を図る。				
根拠法令等	本宮市国民健康保険節目検診実施要綱	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）		
決算額	1 報酬	78,720 円	11 消耗品費	19,918 円	15 工事請負費 円
	7 賃金	1,202,796 円	12 役務費	円	18 備品購入費 円
	8 報償費	円	13 委託料	4,264,050 円	19 負担金補助及び交付金 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計 5,565,484 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標	
国保被保険者で年度内に満35・45・55・60・64歳に達する者 国保被保険者で重複・多受診者、総合検診・人間ドック受診者で要指導の者		指標 (1)	名称 人間ドック対象者数 式
手段（事業の具体的な内容、手順等）		指標 (2)	名称 訪問指導件数 式
人間ドック該当者に通知し、希望者を取りまとめ受診費用の1/2を助成する。国保連資料により重複・多受診者宅を訪問し、保健指導を行う。総合検診及び人間ドック要指導者を訪問し保健指導を行う。		成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標	
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）		指標 (1)	名称 人間ドック受診率 式 121/724
被保険者の疾病の早期発見と重症化予防を図る。		指標 (2)	名称 現年度訪問件数/前年度訪問件数 式 353/257
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか 被保険者の健康管理と適正受診により医療費の適正化が図られる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	人			724	836	
	活動指標(2)	件			353	300	
	成果指標(1)	%			16.7	20	
	成果指標(2)	%			137.4	100	
投入量	事業費	国・県支出金	千円			5,565	1,500
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				4,111
	事業費計(A)	千円			5,565	5,611	
人件費	職員数	人			0.1	0.1	
	人件費平均額(年)	千円			8,373	8,373	
	人件費計(B)	千円			837	837	
総事業費(A+B)	千円			6,402	6,448		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？ 合併に伴い、人間ドック対象年齢の拡大が図られた。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？ 特になし。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
健康な被保険者の増加により医療費の適正化が促進される。	市が保険者として実施すべき事業である。	意図は実態に合っており、妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
適正に対象者の把握が行われているため向上の余地はない。	健康な被保険者の増加により医療費の適正化が促進される事業であり、中止はできない。	類似事業がないため、統廃合はできない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
最小限の事業費で実施しているため削減の余地はない。	最小限の人数で実施しているため削減できない。	対象全体に対し、公平に行われている。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	適正に行われている。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						